

豊島区ゆかりのマンガ家・つのだじろう展

～ 椎名町駅ギャラリーで開催中～

西武池袋線椎名町駅自由通路の「椎名町駅ギャラリー」にて、豊島区ゆかりのマンガ家「つのだじろう」の展示が行われている。令和2年3月中旬までの予定。

同駅名の「椎名町」は、現在の豊島区南長崎地域の旧町名だ。かつてこの町には、昭和20年代から30年代にかけて手塚治虫をはじめとするマンガ家が集い、青春時代を過ごした伝説のアパート・トキワ荘があった。「椎名町駅ギャラリー」は平成23年の椎名町駅舎の改修工事に伴い、地域の文化や伝統工芸を紹介するスペースとして整備された。これまで、トキワ荘に入居したマンガ家など、豊島区ゆかりのマンガ家を紹介してきた。

今回紹介しているつのだじろうは、トキワ荘のマンガ家を中心となり結成した『新漫画党』に1955年に参加。寺田ヒロオや藤子・F・不二雄、藤子不二雄[Ⓐ]、鈴木伸一、森安なおや、石ノ森章太郎らとマンガの腕を磨きあつた。少女マンガ、ギャグマンガ、スポーツマンガなど幅広いジャンルでヒット作を生む。また、『恐怖新聞』と『うしろの百太郎』を生み出し、オカルトマンガの第一人者でもある。

展示では、「豊島区とつのだじろう」「新漫画党時代的一幕」などのエピソードのほか、オカルトマンガの金字塔ともいえる『恐怖新聞』、『うしろの百太郎』などの作品を紹介している。

区の担当者は「世代を超えて引き込まれる作品が多い。新漫画党のエピソードも必見です」と語っている。

※手塚の「塚」は旧字、石ノ森の「ノ」は小文字

期 間	開催中～令和2年3月中旬（予定）	
場 所	椎名町駅ギャラリー（豊島区長崎 1-1-22）	
開館時間	椎名町駅の営業時間に準ずる	
主 催	豊島区	
写 真 * 写真は メールで 送ります	 <p>展示の様子</p>	 <p>当時のエピソードや作品紹介を展示</p>
問 合 せ	文化観光課	